

令和6年度 自己評価報告書（日高ななつ星放課後児童クラブ）

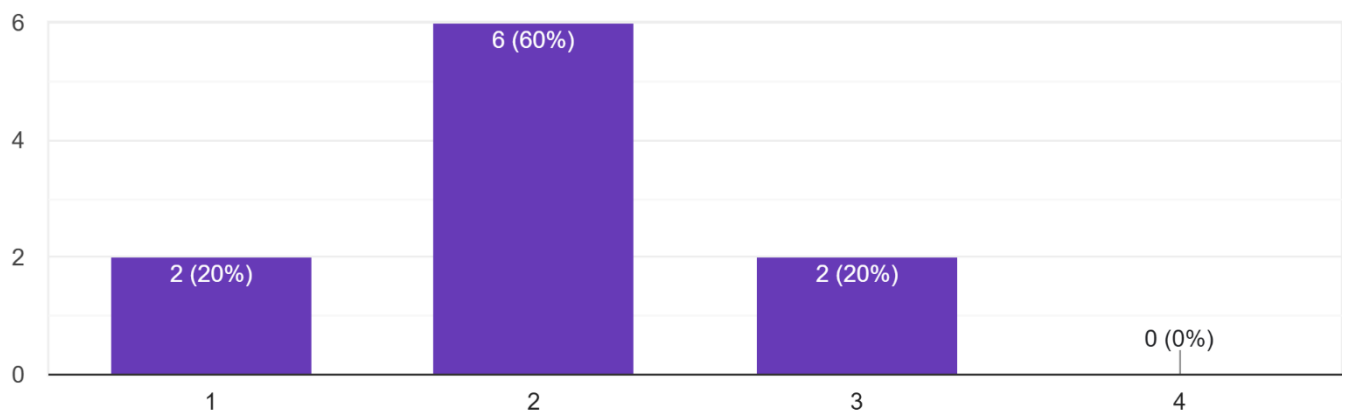
標記について、次のとおり取りまとめましたので報告いたします。

なお、自己評価の結果をもとにして園の強み弱みを分析しながら改善を行い、保育の質の向上に努めて参ります

1 【育成支援】放課後児童クラブにおける育成支援の目的を理解している

1 【教育内容】 1 放課後児童クラブにおける育成支... 放課後児童クラブにおける育成支援の目的を理解している

10 件の回答



【上記取り組みの成果】

- ・同学年でも勉強に時間がかかる子、学年によって下校時間が異なることもあり、遊びと勉強の場が一体になり集中して勉強ができない児童がいる。そのため、遊びの児童には配慮するように声がけをしてる。
- ・できる限り、遊び・学習のスペースを分けるようにした。
- ・やることを子どもに選択してもらうようにした。
- ・子どもが、安全、安心の中で、楽しく放課後児童クラブで過ごせるように努めた。
- ・年度後半、児童が楽しく過ごせる場になってきているように感じた。
- ・支援員の指示に従うようにする
- ・登園後の手洗いやおやつや給食を衛生的に、また楽しく食べるなど、健全な育成の実現を果たす役割ができた。
- ・室内と屋外での遊び方のルールを守り、危険なく遊べることに留意した。
- ・自分以外の子供達に配慮し、みんなが安心して過ごせる場作りに留意した。
- ・サークルタイムを取り入れることで、こどもの主体性を高めながら、こどもの自己実現を図るようにした。
- ・自主性に取り組めるように環境を整え安全面に気をつけた
- ・児童が、主体的な遊びや基本的な生活習慣を確立できるよう声掛けや見守りができた。

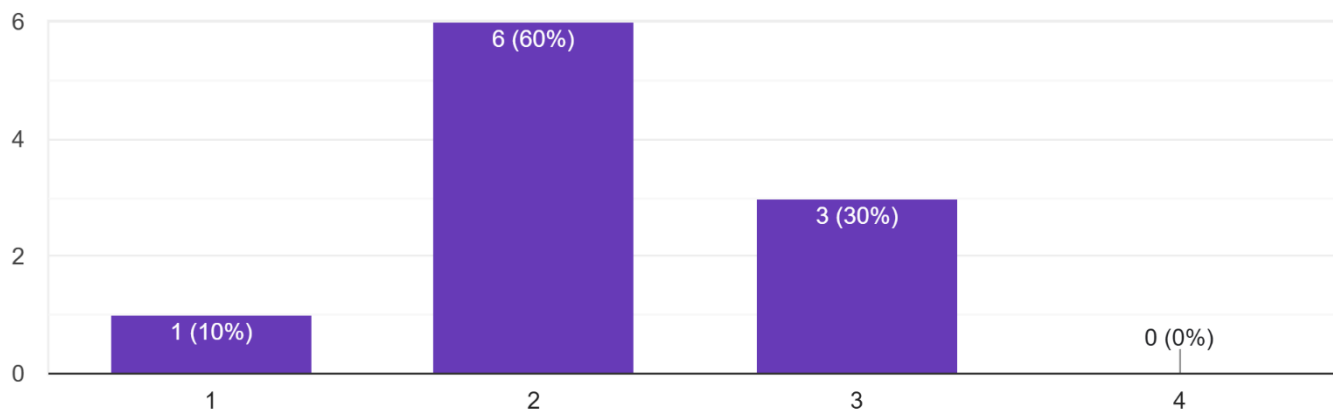
【上記取組の今後の課題】

- ・配慮してもらうには職員の声かけでは限界があると思います。活動場所の分離が必要な思いがあります。
- ・遊びのときなど、周りをよく見て気をつけるよう常に声掛けは行っていたが、子どもの不注意によるケガはあった。伝わる話し方を考える。
- ・子どもたちは周りを思いやる気持ちが乏しい。周りの気持ちを考えられるようにするにはどうしたらよいのか。
- ・全体を見守る様にしているが、気になる子どもに注視しがちになる。
- ・児童数が多いことやトラブルを回避したいためか、児童を室内で管理している傾向がある。外遊びが可能な時には外遊びを。
- ・玩具などはローテーションで出すなど飽きないようにする工夫は見られたが、結局出さないままの物やあまり使わない物がある。
- ・猛暑時、天候不順などで外遊びができないときの活動の工夫。
- ・様々な個性を持つ子どもたちであることを理解しながら、「放課後児童クラブは、みんなが安心して過ごす場」であることを伝えていく。
- ・外遊びの機会が非常に少なかったなので、こどもの立場に立ち子どもの思いを叶えるように体制を組む。
- ・環境を整え安全に過ごせるように継続する
- ・安全面に配慮したつもりだったがケガを防げなかった場面があった。今後も環境整備を整えケガや事故を防いでいきたい。

2 【研修等】放課後児童クラブの運営主体は、放課後児童支援員等の研修機会の確保や参加できる環境を整えている。

2 【育成支援の内容】 ・育成支援の留意点を理解し、支援を行っている。

10 件の回答



【上記取組の成果】

- ・支援員が、児童の考え意見を丁寧に受け取り、児童が主体となって児童クラブを作っていくという児童目線を取り入れて工夫していると思います。
- ・子どもたちの声を聞くように心がけた。
- ・保護者と協力して子どもを育てるという観点に欠けていた。
- ・児童が主体となり行事ややりたいことを考える機会を設けた。児童支援員は児童が話し合ったことをできるだけ実現できるように働きかけ、できない場合はどうしてできないのかを伝えることで児童が再度考えることを繰り返すことで充実した活動になっていた。
- ・悩みや相談事も話せるような信頼関係を築きたい
- ・サークルタイムの実施やアンケートにより、子ども一人ひとりの考えや意見を聞くことができ、活動に生かすことができた。
- ・悩みや相談事を話せるような関係までは築けていないように思う。
- ・こどもの権利や平等性、人格を大切にした運営に心がけた
- ・サークルタイム、意見投票箱などで意見を聞き反映することができた
- ・サークルタイムを活用し、児童の意見や考えを反映し行事に生かした。

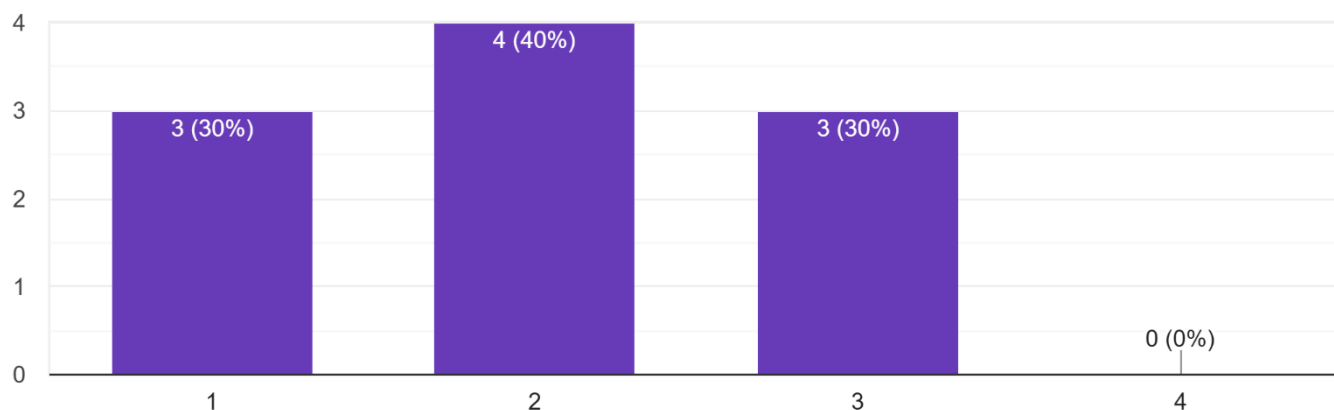
【上記取組の今後の課題】

- ・意見が多様でまとめることが難しい。意見を一つにまとめる必要はないと思うが、公平を保つためにどうしたらよいか考える。
- ・保護者に子どもの家庭での生活について話を聞く様に心掛ける。
- ・児童の意見を大人の都合の活動に誘導しないように留意する
- ・子どもの様子を注意深く見ながら、悩みや相談事に気付けるようにしたいと思う。
- ・子ども同士の関係は、気が付かないところで問題が起こることもあるので、子どもの様子や発言、些細な訴えも逃すことなく心に留め、情報交換していきたい。
- ・研修等で職員間にこどもの権利の重要性について浸透させ、こどもいろの児童クラブを実現する
- ・発言などが苦手な子がいるので意見投票箱を活用する
- ・児童ひとりひとりが居場所として感じられるように信頼関係を築いていきたい。

3 障害のある子どもの受入れの考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。

3【障害のある子どもの受け入れ方】 ・障害のある...考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。

10件の回答



【上記取組の成果】

- ・児童が一方的に考え方を押し付けている場面があり、一人一人考え方があるということを話したことがありました。
- ・子どもの得意なものを聴き取り、それを生かした活動をする。
- ・できるだけ本人の意思に沿った活動ができるように配慮をした。
- ・なかなか子どもの気持ちがわからなくて困る。専門の指示者がいるといいと思います。
- ・日々の接し方で、子どもの特性や行動の仕方を、手探りではあったが理解することができてきた。
- ・個別に話をよく聴くこと、気持ちを聴いて理解することにより、行動に変化が現れてきたところもある。
- ・気になる行動をすぐに記録し、支援員、支援補助員で共有することで子どもの理解が深まった。
- ・特別な支援計画については、毎月手立てを検討し、支援員で情報共有して支援に当たった。
- ・障害のある子どもに安心してすごせるように見える化をして、生活等の見通しをたてた
- ・情報の共有ができています
- ・その子に合わせた支援の手立てを考え、実践することが出来た。

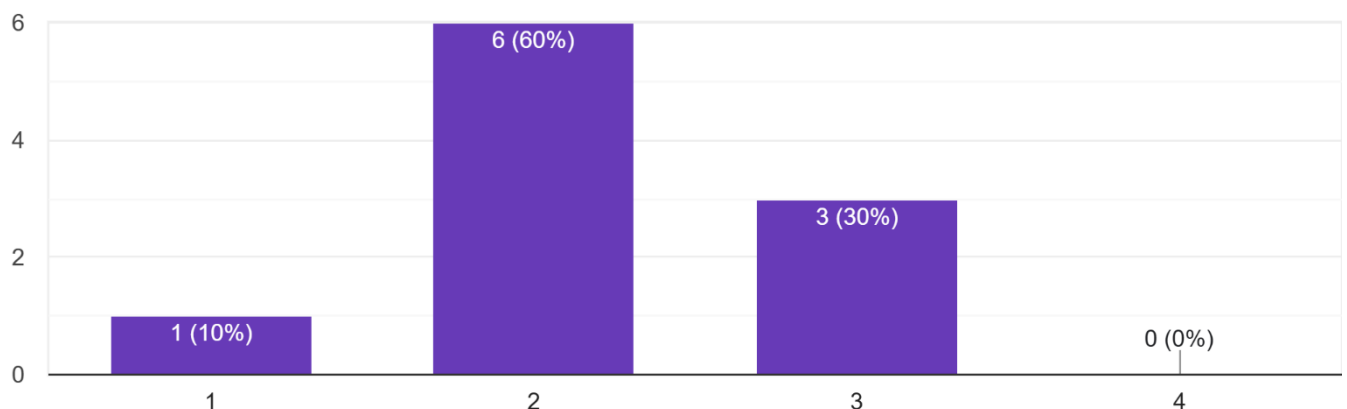
【上記取組の今後の課題】

- ・私自身が個々の特性を知り支援していく必要がある。
- ・支援の計画を立てる。
- ・子ども様子や話している内容に普段から留意する。
- ・気持ちが高揚しやすい児童に対しての対応
- ・自分でできることや、友達同士の関わりを深めることに対し、見守る姿勢をとりながらも、支援するタイミングを逃さずに関わっていきたい。
- ・専門性を高めた支援を検討、実施する。
- ・見通しを持った計画、寄り添う支援を継続する
- ・今後も状況に応じて手立てを考え、寄り添いながら支援していく。

4 【保護者との連絡】 各種連絡手段を活用して、子どもの出欠席、遊びや生活の様子について保護者と情報を共有している。

4 【保護者との連絡】 ・各種連絡手段を活用し...生活の様子について保護者と情報を共有している。

10 件の回答



- ・出欠確認を行った。
- ・子どもが宿題を集中してやっていたことなどを保護者に話した。
- ・お迎えの際に保護者にその日の出来事などを伝えて情報共有をした。
- ・お迎えの時に保護者さんとはなしています
- ・日々の状況を細かく伝える機会がなかなかなかったが、お迎えの時に、様子をひと言伝えて見送ることを心がけた。
- ・児童の出欠確認については、毎日欠かさず確認を行い、連絡のない家庭には必ず保護者に電話をかけて確認していた。
- ・家庭と児童クラブの情報共有することができた。
- ・出欠連絡が忘れる家庭が見られ、お便りに載せた時もあったが継続が見られなかった
- ・お迎え時、その日の子どもの様子を伝えている
- ・保護者と情報を共有できた。

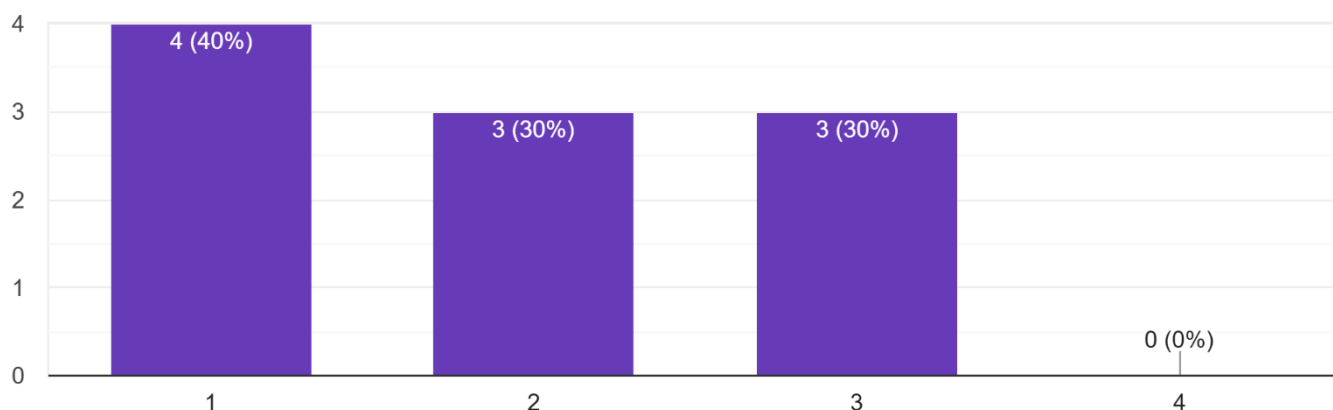
【上記取組の今後の課題】

- ・保護者に日常的に様子を伝える。
- ・なるべく、より多くの保護者と情報交換する。
- ・他者とのトラブルの報告等よくない話題が続くことがないように、児童の良い面を見るように努めること（良くない話題が続くことで、信頼関係の構築が困難になる）
- ・欠席連絡を入れない家庭がまだ散見されるので、連絡を入れていただくよう声掛けを続けていく。
- ・お迎え時に、ひと言伝えることを続けていきたい。
- ・園だよりで、保護者へ啓発を行う。
- ・お便りに出欠連絡の時間をのせた時は守る家庭が多いがその後は出欠連絡が遅かったり、連絡忘れが見られるから定期的にお便りに乗せた方がいい
- ・お手紙(申し込み・提出書類等)の問い合わせ、締め切りの把握が不十分
- ・毎日のお見送りの際にできる限り様子をお伝えするようにする。

5 【学校との連携】 情報交換や情報共有、学校施設の利用等、学校との連携を図っている。

5 【衛生管理及び安全対策】 ・日常の衛生管理...染症の発生時における対応方針を予め定めている。

10 件の回答



【上記取組の成果】

- ・手洗い・うがいの声掛けを継続する。
- ・テーブル等の消毒を継続する。
- ・衛生管理に関して不十分な面があった。
- ・学校にいる時間から体調不良でも保健室を利用せずに登園する児童がいるので、学校で具合が悪い時には保健室を利用するように児童に話をすることも必要である。
- ・おやつは、毎日のことなので、毎日の声掛けにより習慣化することを目指したい。
- ・インフルエンザ、溶連菌などの感染症も含め、記録の仕方、情報共有の仕方、欠席すべき日数などをマニュアルとしてまとめて児童クラブの職員内で共有したい。
- ・コドモンでの感染症情報を忘れずに発信する。
- ・声掛けだけでは手洗い、うがいをしていない子がいるので職員配置に余裕がある時は見守る
- ・子どものハンカチ(手洗い)、ティッシュについて
- ・おもちゃの清掃、消毒

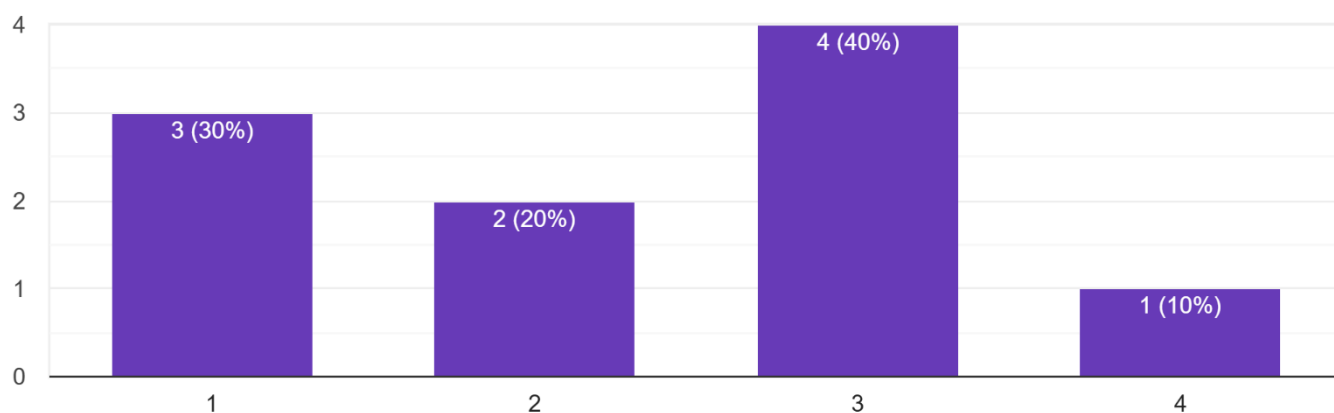
【上記取組の今後の課題】

- ・手洗い・うがいの声掛けを継続する。
- ・テーブル等の消毒を継続する。
- ・衛生管理に関して不十分な面があった。
- ・学校にいる時間から体調不良でも保健室を利用せずに登園する児童がいるので、学校で具合が悪い時には保健室を利用するように児童に話をすることも必要である。
- ・おやつは、毎日のことなので、毎日の声掛けにより習慣化することを目指したい。
- ・インフルエンザ、溶連菌などの感染症も含め、記録の仕方、情報共有の仕方、欠席すべき日数などをマニュアルとしてまとめて児童クラブの職員内で共有したい。
- ・コドモンでの感染症情報を忘れずに発信する。
- ・声掛けだけでは手洗い、うがいをしていない子がいるので職員配置に余裕がある時は見守る
- ・子どものハンカチ(手洗い)、ティッシュについて
- ・おもちゃの清掃、消毒
- ・今後継続して衛生管理につとめるとともに、園内研修等で嘔吐処理の仕方などを忘れないようにしていく。

6【 防災及び防犯対策】 防災や防犯に備えた対策・訓練等を日ごろから行っており、災害等の発生時における対応方針を予め定めている。

6【衛生管理及び安全対策】 ・ 事故やケガの防止と対応

10件の回答



【上記取組の成果】

- ・ 重たい荷物をロッカーに置かないことや、水筒の置き場所を荷物掛けにかけるなど高いところからの落下防止がないように声がけして管理している。
- ・ 靴の踵ばきや、紐が解けている場合には、直して転倒しないように注意している。
- ・ 外遊びの前には気をつけて遊ぶように声掛けをした。
- ・ 怪我等が予測される行動には注意を促した。
- ・ 通院が必要となるケースが2件起きた。
- ・ もっと目配りをする様にしたい
- ・ 子どもの怪我発生に、常に気をつけ、危険な行動を見つけた時には声がけをしていたため、大きな怪我を防ぐことができた。
- ・ 大きな事故もなく過ごす事ができた
- ・ 子どもたちが安全に過ごし遊べるように点検、補修を行った。野外活動の時は事前に安全確認した
- ・ ケガや事故の防止に気を付けることができた。

【上記取組の今後の課題】

- ・ 今後も事故防止のために続けていく必要がある。
- ・ 安全点検をする。
- ・ 子どもが怪我をした場合、他の職員と連携を図り速やかに処置する。
- ・ どちらのケースも、職員の注意や話を聞いていなかったことも一因であるので声掛けの仕方に工夫が必要と思われる。
- ・ 子どもたちの中には「怪我を防ぐために」という意識がまだ入っていないようである。(注意されるからやらない、という認識のように思われる)
- ・ 「室内ではできないが屋外ならできる。」「屋外であっても危険なことはしない」という自分の動きをコントロールできるようになるための声がけを続け、ルールを子どもたちで決める場を設けた

い。

- ・室内遊びでのけが予防について、声かけや支援方法を改善していく。
- ・安全に過ごし遊べるように点検、補修を怠らない
- ・児童クラブ的、屋外の安全点検

室内外遊びのルール～子供と一緒に話し合いで記録しておく

- ・ケガや事故の際は即分担し、人任せにせずそれぞれが動けるようにしていきたい。